

質問5: 質問3・4であげたものを含めた地域の「文化財」の守り方・伝え方について、あなたの考え方に近いものを教えてください。

- (1) 行田市として文化財を次の世代に伝えていくために、今後どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
①地域の施設での展示や講座の開催、体験イベントを増やして文化財に触れる機会を増やす	249	40%
②パンフレット配布やインターネットなどで広報を実施して情報発信を強化する	222	36%
③文化財についての情報収集や研究を進め、情報を更新していく	125	20%
④文化財を郷土学習の教材に活用して、若い世代へ教育・体験の機会を増やす	227	36%
⑤ガイドや語り部の育成など文化財にかかわる人材を育成する	109	17%
⑥文化財を観光資源として活用するための整備や清掃活動をする	210	34%
⑦その他	37	6%
無効(その他のご意見欄で集計)	7	1%
空欄	81	13%

どの選択肢も回答者の20%以上の人を選択していた。最も多かったのは「①地域の施設での展示や講座の開催、体験イベントを増やして文化財に触れる機会を増やす」でした。

- (2) あなたが行田市の文化財に関する活動で関われることを教えてください。(複数回答可)

選択肢	回答	割合
①博物館・公民館などでの展示見学	271	43%
②博物館・公民館などでの講座参加	142	23%
③地域のイベントやお祭りなどへの参加	215	35%
④SNSなどで情報発信	83	13%
⑤文化財の公開・活用のためのお手伝い・サポート	69	11%
⑥文化財の保存・活用のための寄付	38	6%
⑦所有する文化財の活用(博物館への貸出・寄託・寄贈や現地での公開など)	12	2%
⑧文化財を保全するための草刈り、ゴミ拾いなどの清掃活動	112	18%
⑨文化財を解説するガイド活動	23	4%
⑩伝統芸能、伝統技術の継承(お祭りや踊りの担い手として参加)	32	5%
⑪伝統芸能、伝統技術の指導	6	1%
⑫足袋蔵を借用し、店舗などを開業する	22	4%
⑬その他	44	7%
⑭わからない	51	8%
無効	6	1%
空欄	98	16%

「①博物館・公民館などでの展示見学」、「③地域のイベントやお祭りなどへの参加」、「②博物館・公民館などでの講座参加」は比較的多くの人を選びました。次いで、「⑧文化財を保全するための草刈り、ゴミ拾いなどの清掃活動」、「④SNSなどで情報発信」、「⑤文化財公開・活用のためのお手伝い・サポート」といった、能動的な活動についても10%以上の回答を得られました。